

令和3年度 第1回生駒市入札監視委員会議事概要書

開催日及び場所	令和3年8月18日(水) 生駒市役所 4階 401・402会議室			
出席委員等	委員長		福本 佳苗	
	委員長代理		岸 道雄	
	委員		田中 忠司	
	事務局		杉浦総務部長・山本契約検査課課長・前田契約検査課課長補佐・大熊契約係長・北野契約係員	
	抽出案件説明担当課	管理課		西岳課長、銭谷係員
浄水場		竹田場長、梅本係員		
みどり公園課		知浦課長、紀之國主幹		
工務課		岡村課長、西補佐		
総務課		飯島課長、松本係長		
審議対象期間	令和2年12月1日 ~ 令和3年5月31日			
抽出案件	総件数	5	(備考)	
一般競争入札		3	期間内入札等件数	一般競争入札 59件
指名競争入札				指名競争入札 0件
随意契約		2		随意契約 10件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
	別紙のとおり			
委員会による意見具申又は勧告の内容				

質 問	回 答
<p>調査対象概要</p>	<p>令和2年12月1日から令和3年5月31日までに契約された各方式別の状況について事務局より説明をしました。</p>
<p>●審議案件 抽出案件1(生駒1号歩行者専用道雨樋改修工事)</p> <p>この案件については、競争入札でありながら落札率100%で、応札した2者とも100%で入札しています。予定価格、最低制限価格については事前公表しているとのことですが、競争性が保たれているといえるのでしょうか。</p> <p>このように、落札率100%ということはよくあるのですか。</p> <p>応札者も2者のみということは、業者としては100%でも採算がとれないと判断したのでしょうか。</p> <p>発注時期に原因はありますか。工事が集中する時期はありますか。</p> <p>今後もこのような工事はとび・土工・コンクリートで発注することになりますか。</p> <p>発注する工種や時期によって落札率に大きく影響すると思いますので、よく考えて発注していただければと思います。</p>	<p>この案件は、1度、工種をとび・土工・コンクリートで発注していましたが、不調となったため工種を変更して再度公告したものです。この工事は、バス停にもなっている駅の通路部分に足場を組まなければならない、県の許可が下りず夜間しかできないということで、業者としては採算がとれないと判断したのではないかと考えます。</p> <p>たまにあります。予定価格は設計価格と同じですので、100%で落札されてもおかしくはありません。昨年度でいうと、4、5月に公告したトイレ改修などの営繕系の工事は落札率100%でした。ただ時期をずらして2、3月に公告した同種の工事は最低制限価格で落札されています。</p> <p>確実に夜間しかできない工事なので、足場をいちいち組みなおさないといけないということもあり、そう判断されたと考えます。ただ、落札業者にあとから聞いた話では、下請け業者が良い機械を持っていたため、その機械を使えば利益は多くないが人件費くらいにはなると判断し応札したと聞いています。</p> <p>樋を触ることもあり、できるだけ雨の時期を避けたいため、雨の少ない冬に発注するのが妥当と判断しました。ただ、年度末になると多くの工事を持っている業者もありますので、応札者が少なくなる可能性もあります。</p> <p>足場を組むので、建設業法に基づくと、とび・土工・コンクリートになると考えますが、どの工種で発注するかというのは都度よく考えなければならないと思っています。今回は1度不調となり、同種の材質を使う管工事で発注した結果、2者の応札という結果になりました。</p> <p>わかりました。</p>
<p>●審議案件 抽出案件2(令和3年度取水井浚渫工事)</p> <p>非常に落札率が低いですが、積算金額に問題はないですか。</p>	<p>時期的に、手すきであれば確実な収入が見込めるため、低い金額でも応札いただいていると業者から聞いております。</p>

質 問	回 答
<p>従業員に正当な報酬が支払われているかという確認はされていますか。</p> <p>過去においても、同種の工事について落札率は低いのですか。いつも同じ業者が落札されていますか。</p> <p>この工事は大部分が人件費ですか。機材等は含まれていますか。</p> <p>最低制限価格を設けるかどうかは金額によって決めるのですか。</p> <p>工事に必要な人数が協会歩掛に載っているのですか。</p> <p>積算上工事に必要な人数は載っているが、実際は業者によって何人使うかは分からないということですね。そのあたりで応札金額に差が出ているのかもしれないですね。</p>	<p>実際に従業員に支払われた金額までは確認しておりません。</p> <p>過去の同種工事においても落札率は同じくらい低くなっています。落札業者についてはいつも決まった業者ではありません。昨年、一昨年は違う業者が落札しています。</p> <p>大部分が人件費です。交換するポンプなど、工事に必要な機具については材料支給しています。予定価格は協会の歩掛に基づいて積算しております。</p> <p>最低制限価格の設定の有無については、生駒市最低制限価格制度要領に基づき判断します。協会の歩掛に員数があり、それに県の基本単価をかけて積算しているので、直接工事費に相当する額の過半数以上がカタログ等の価格と判断し、最低制限価格を設けておりません。</p> <p>積算上必要な人数が載っています。</p> <p>はい。</p>
<p>●審議案件 抽出案件3(市内公園施設長寿命化計画健全度調査業務)</p> <p>この案件については、対象業者数が多いのに応札が1者、さらに落札率が100%となっています。その理由はどのように考えられますか。</p> <p>特に特殊な業務ではないのですか。</p> <p>発注にあたっての周知方法に問題があると考えられるなら、工夫が必要ではないでしょうか。今後も同じくたまにしか発注されないとなると同じ結果になる可能性がありますので、今後検討が必要ですね。</p> <p>発注時期はhowですか。</p>	<p>応札が1者という点については、今まで生駒市での造園に関するコンサルタント業務の発注が非常に少なかったため、コンサル業者の注目度が低かったのではないかと推測されます。また落札率100%という点については、年度末の点検作業であり、安全管理士等の配置技術者の確保が難しかったのではないかと考えられます。なお、対象業者数が294者とあるのは、登録のある全コンサル業者数であり、造園部門を取得しているのは67者であると把握しています。</p> <p>配置技術者の資格要件を設けており、資格をお持ちなら誰でも業務を請け負うことが可能です。</p> <p>わかりました。発注頻度については、平成30年に都市公園法施工規則改正により、毎年1回点検することになっています。</p> <p>現場作業なので暑い時期を避けて発注したのですが、今回は発注時期を前倒しで行いたいと思います。</p>

質 問	回 答
<p>他の市町村もそう思い暑い時期を避けているなら、逆に業者の手がすいていて安く落ちるかもしれません。次年度以降検討してください。</p> <p>他の市町村も同種業務を行っているのですか。応札業者数はどうですか。</p> <p>直接職員が点検を行う場合と外部発注する場合というのは、生駒市ではどう切り分けられていますか。</p> <p>この業務は、コンサル業者だけでなく、メーカーで行うことは可能ですか。</p> <p>発注時期や他市町村の入札状況も確認しながら、次回以降検討をお願いします。</p>	<p>分かりました。</p> <p>市町村によっては職員が直接業務を行う場合と、外部発注する場合があります。外部発注している市町村における応札業者数については確認しておりません。</p> <p>点検には資格も必要ですし、生駒市では人手がないこともあり外部発注としています。先月奈良市において遊具の事故により子どもが重症を負ったケースもありますので、第三者の目での点検が必要であると考えています。</p> <p>メーカーに発注するケースもあります。ただ生駒市としては、遊具を製造しているメーカーとは違った厳しい目線で点検を行ってもらうほうがよいと考えています。応札業者が増えないということであれば、メーカーも対象にすべきか検討していきます。</p> <p>はい。</p>
<p>●審議案件 抽出案件4(令和3年度減圧弁等点検業務)</p> <p>請負率が22%ということでもとても低い点についてご説明いただけますか。</p> <p>予定価格については相手方に伝えていないということでもよろしいですか。年2回されていますが、毎回同じような請負率ですか。</p> <p>値交渉はしていますか。</p> <p>毎回同じ相手方ですし、請負率は低くても、言い値で契約せず交渉すべきかと思えます。</p>	<p>積算価格は日本水道協会の水道施設維持管理業務委託積算要領という歩掛を使って、標準的な積算を行っております。契約相手方から調達している製品の点検業務なので大幅に安くなったのではないかと考えています。</p> <p>予定価格は伝えていません。請負率についてもあまり変動はありません。</p> <p>していません。</p> <p>わかりました。</p>
<p>●審議案件 抽出案件5(3階空調機修繕工事)</p> <p>請負率が93%ということで比較的高いですが、予定価格と契約金額の関係についてご説明いただけますか。</p>	<p>予定価格については、製品自体が特注品であり、部品は今回の契約相手方からしか調達できないため、部品の価格については契約相手方から見積もりを取り、そこに生駒市の経費をのせて積算しております。最終的に見積もり価格が予定価格を下回り、金額も妥当と判断したため、契約に至りました。</p>

質 問	回 答
<p>これまでも修繕されてきたと思うのですが、その際も同じように予定価格を設定し、請負率も90%前後ですか。</p>	<p>大規模な修繕については同じ積算方法で、請負率も同じくらいです。ただ軽微な修繕については、見積もり金額を予定価格としています。</p>
<p>●報告案件(1) 入札参加停止措置の運用状況</p>	<p>令和2年12月1日から令和3年5月31日までの入札参加停止措置を行った状況について報告しました。</p>
<p>●報告案件(2) 建設工事における設計変更の状況について</p>	<p>令和2年12月1日から令和3年5月31日までの期間に完成した案件について報告しました。</p>
<p>●報告案件(3) 不調・不落、1者入札の状況</p> <p>コンサル業務で、174者対象業者がありながら1者の応札がなかった案件について、どのような理由が考えられますか。</p> <p>発注時期が遅れると応札者が少なかったり落札率が高かったりというケースがよくありますが、生駒市としてその時期を前倒しするということはやはり難しいですか。</p>	<p>令和2年12月～令和3年5月における不調・不落、1者入札の状況について、報告しました。</p> <p>コンサル業者については年度当初に仕事をたくさん取っていくことが多く、この案件は発注時期が12月ということで遅くなったことが原因かと思われます。</p> <p>前倒しできる案件についてはできるだけ早く発注していただくよう、会議や文書でも周知しています。</p>
<p>●報告案件(4) クラウドサービスを活用した電子契約の実証実験を開始(令和3年7月1日～令和3年8月31日)</p> <p>その結果についてはいつごろ出そうですか。</p> <p>来年度一斉に開始する予定ですか。</p> <p>他の自治体も多く取り入れているのですか。</p>	<p>従来、紙で行っている契約行為について、クラウド上で署名・スタンプを施し契約を行う電子契約について、現在生駒市で実証実験を行い、費用対効果を検証していることについて説明しました。</p> <p>8月末まで実験を行い、10月頃には市長まで結果の報告をしたいと思います。</p> <p>4月5月は契約が多いので混乱するかもしれませんが、できれば一斉にという思いはあります。</p> <p>生駒市が実証実験をさせてもらっているサービスについては、現在関西圏で8自治体の実証実験をしていると聞いています。関東のほうはもう少し多いようです。茨城県は正式に契約しています。</p>
<p>●報告案件(5) 電子入札の拡大(建築設計・建設コンサルタント)(令和3年9月1日～拡大予定)</p>	<p>担当課の業務負担を少しでも減らす目的もあり、可能な限り電子入札システムを活用していくため、対象業務を拡大したことについて報告しました。</p>
<p>案件抽出委員(当番委員)の指名</p>	<p>運営要領第3条第2号の規定に基づき、田中委員に決定しました。</p>

質 問	回 答
次回開催日について	来年2月頃を予定しています。近くなりましたら調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。